

令和3年度 第三回豊洲市場に係る都区連絡調整協議会について

1 開催日 令和3年12月13日（月）

2 主な協議内容

(1) 土壌汚染対策について

前回10月の報告以降、3か月ごとの定期的な調査が更新されていないため、次回に最新の調査結果をもって報告させていただきたい旨の説明があった。

(2) 千客万来施設事業等について

事業者の工期変更の申し出に対する都の対応等について質疑を実施した。

都からは、工期短縮、商業棟の先行開業、江戸前場下町の延長、さらなる賑わい創出の取組及びテナントリーシングについて、検討状況の報告があった。

区からは、どれも内容やスケジュールが具体性に欠けているとして、時間軸を持って検討を進め、対応策を早期に具体化するとともに、5街区を含む千客万来施設事業全体の将来を展望するよう強く求めたところ。

また、市場開場に当たっての行政同士の約束であるため、都の責任の重みを改めて認識するよう厳しく指摘した。

区側	都側
<p>・工期短縮に関する事業者からの報告に対して、都は了承せずさらなる短縮を求めるとのことだが、この判断に当たって、技術的な専門家の意見を聞いているのか。また、いつまで求め続けるのか。</p>	<p>・都は事業者からの報告について建築の専門家に伝え、工期短縮のために工夫した点を認められた一方、専門家の意見を踏まえ、追加の情報を事業者に求めている。工程に限りがある中で、引き続き、安全性には十分配慮した上で、さらなる短縮に向けて検討するよう求めている。</p>
<p>・工事は始まっており、求め続けるのも限度がある。時期を明確に示してほしい。</p>	
<p>・テナントリーシングについて、賑わい創出に直結するものとして、工事と並んで重要なものと考えているが、テナントリーシングに対する都の認識をうかがう。</p>	<p>・千客万来施設事業の目的を遂行するためには、築地場外市場からの誘致、市場業者・地元の商店街等との連携、江戸前場下町からの誘致などテナントリーシングが重要。都は進行管理とともに、市場業者とのコーディネートなどのサポートをしていく。</p>
<p>・都は、工事の工程管理の反省を踏まえて取り組んでほしい。</p>	

(3) 交通対策について（地下鉄8号線の延伸）

都として、東京メトロによる環境調査・設計に対する補助を都市整備局予算要求に計上するなど、早期事業化に向け、関係者と連携して取り組んでいるところであるが、予算編成過程のため、予算案として取りまとまった段階で、改めて報告させていただきたい旨の説明があった。